

## 【六角天井灯の作り方】



【使用する型紙#】

プラ板用 (③-1)  
極薄ベニヤ用 (③-3)  
パルサ板用 (③-4)

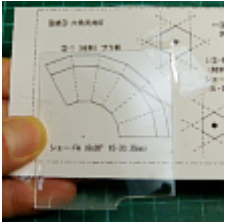
プラ板用のカット線の位置を変えると小さめの天井灯になります(18参照)。

洋室や玄関ホールなどに合う天井灯です。作例では鉄製に見せるため木部を黒く着色していますが、木部を白く塗りプラ板部分に布を貼ると色付きガラスのような明るい雰囲気ライトになります(18参照)。

《使用する材料》 (☆はパーツキットに入っているもの、★は自分で用意するもの)

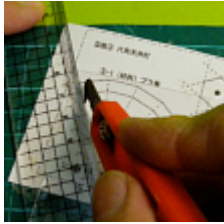
☆12V用麦球	☆極薄ベニヤ	★布
☆ウッドビーズ(小)2個 (ウッドビーズ大で代用可)	☆パルサ板	★ボンド
☆プラ板	☆アルミパイプ	★塗料

(1) プラ板加工



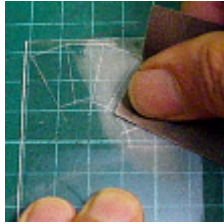
プラ板を型紙より大きめにカットして重ね、動かないようテープで留めます。

(2)



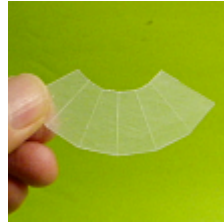
プラ板カッターなどで型紙の線に合わせてスジを彫ります。深く彫りすぎないこと。

(3)



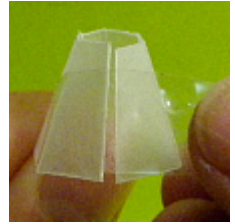
型紙から外しサンドペーパー(＃240～＃400 ぐらい)をかけます。

(4)



型紙の実線に合わせてカットします。型紙の点線は折曲げ線なので切らないこと。

(5)



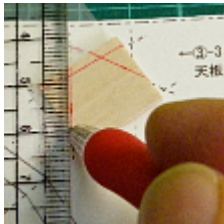
プラ板を折り曲げ、テープで仮止めます。下端が水平になるように合わせて下さい。

(6) 板の加工



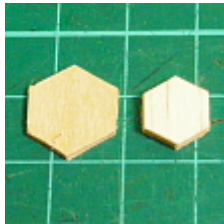
板を少し大きめにカットして型紙に重ね、メンディングテープで留めます。

(7)



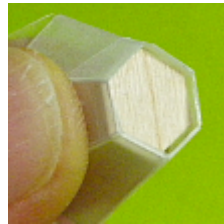
型紙の補助線(点線)を利用して板の上に型紙と同じ図形を描きます。

(8)



板を型紙から外し、描いた図形通りにカットします。

(9)



上ふた(パルサ板)はシェード(プラ板)に合わせてみながらサイズを調整して下さい。

(10)



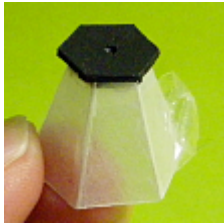
板を黒く塗ります。天板(極薄ベニヤ)の中心に2ミリ径の孔を開けておきます。

(11)



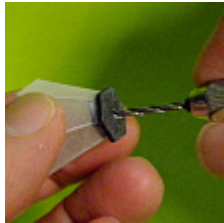
上ふた(サイズ調整済みのパルサ板)をシェードの上部にボンドで接着します。

(12)



乾いたらその上に天板を接着します。各方向のみ出しを均等にして下さい。

(13)



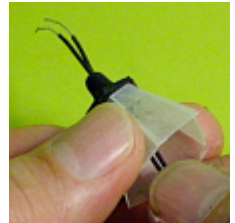
乾いた後、天板の孔をパルサ板まで貫通させます。

(14)



ウッドビーズ(小)を天板の中心に接着し、黒く塗ります。

(15) 電球取り付け



ボンドが乾いた後、麦球のコードを下方から通します。

(16)



アルミパイプを適当な長さにカットし、コードを通します。

(17) 完成



パイプをウッドビーズの中まで入れ、パイプ上部にもビーズをはめて完成です。

(18) 応用作例



プラ板を型紙のYの線の位置でカットすると小さめの天井灯ができます。→

(18)のライトを作るときは、シェードを型紙のYの線でカットする(小さめにする)ことに加え、木部を白く塗り、シェードに緑色の布(キットには含まず)を貼ります。布を貼ると見た目は透明感がなくなりますが、実際に点灯すると色付きガラスのようなきれいな色ができます。

(19)



(17)と(18)の作例を並べて点灯したところです。右はシェードが約5ミリ短いです。